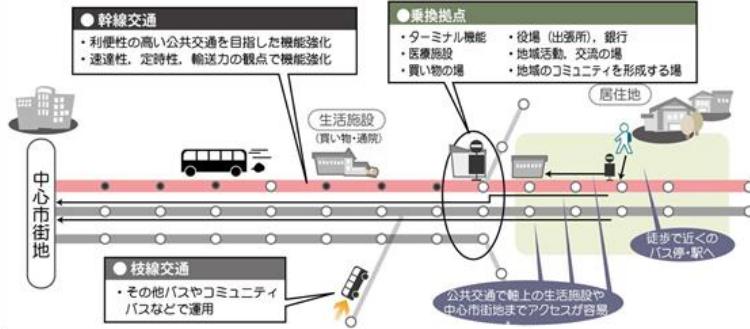


1. 基幹公共交通軸の強化について

・平成24年3月に策定した「熊本市公共交通グランドデザイン」にて、「熊本市第2次都市マスタープラン」における中心市街地と15の地域拠点とを結ぶ8つの軸を「基幹公共交通軸」と位置づけ。

・基幹公共交通軸について、速達性(平均旅行速度)、定時性(遅れ時間)、快適性(輸送力:車内の状況)を強化することで、公共交通の高いサービスを提供し、移動における自家用車から公共交通への転換を促すことを目的。



2. 昨年度までの主な取組成果について

■ 基幹公共交通軸の現況調査

・長嶺、健軍、楠、合志、植木、富合の6方面の基幹公共交通軸の現況把握、課題の抽出、対策方針等の検討を実施。長嶺・健軍方面においては、具体的な対策案(快速バスの運行や市電の輸送力強化など)を洗い出した。

■ 急行バス社会実験

【概要】

イオンモール熊本クリア発(浜線バイパス経由)交通センター行の急行バスを、通勤通学時間帯に10分間隔で運行したもの。

【運行期間】

平成26年1月14日(火)~2月13日(木)の平日(22日間)

【利用者数】

・1日最大64人、平均52人
・延べ利用者数1,150人

【導入効果】

・所要時間について、従来路線バスに比べ平均6.5分、最大10.6分の短縮が見られた。

・利用者アンケートにおいて、利用者の9割以上から定時性、速達性、快適性に対して「満足」、「まあ満足」との回答を得られた。



3. 基幹公共交通軸上の乗換拠点候補地の抽出

■ 乗換拠点候補地の抽出

・各軸における課題やバス利用者のOD特性、パーソントリップ調査結果や都市マスタープランなどを踏まえ、基幹公共交通軸上のゾーンシステム乗換拠点、鉄道駅乗換拠点、地域拠点バス停などを候補地として抽出した。

■ ゾーンシステム乗換拠点候補地の抽出

・抽出にあたっては下記の要素を考慮した。

- 抽出要素**
- ・軸の強化に伴うバス利用者の増加可能性
 - ・運行効率性の向上
 - ・利用者への影響
 - ・徒歩圏等の人口規模
 - ・乗車人数や中心部への乗車人数の割合
 - ・断面における需要量と供給量
 - ・定時性(遅れ時間)や拠点性
 - ・他交通手段との結節 など

	方面(基幹軸)	ゾーンシステム乗換拠点候補地
①	植木・北部	四方寄(南原)周辺 北部総合出張所周辺 植木周辺
②	堀川・合志	堀川周辺 御代志周辺 辻久保周辺
③	楠・武蔵ヶ丘・光の森	二里木周辺 楠団地周辺 武蔵ヶ丘周辺 武蔵塚駅周辺
④	長嶺・小峯	日赤病院周辺 長嶺団地周辺 長嶺小学校周辺 小峯営業所周辺 戸島周辺
⑤	健軍	健軍電停周辺 沼山津周辺
⑥	城南・嘉島	中の瀬車庫周辺 イオンモール熊本周辺
⑦	川尻・富合	川尻駅周辺 リバグリーン八幡周辺 国町(富合駅)周辺 南区役所周辺
⑧	城山	小島産交周辺 西区役所周辺 西部車庫周辺

4. 今年度以降の取組予定

■ 基幹公共交通軸上の乗換拠点選定

・各候補地の比較・検討や関係機関との協議を進め、地域公共交通網形成計画や熊本都市圏交通マスタープランと連携した各軸上のゾーンシステムの乗換拠点の抽出・選定を行う
※バス路線網再編部会と連携

■ 基幹公共交通軸の強化、整備に関する検討

